

事前のお知らせ



台の上にきつねで「だいこん」！？ うすから出たマグロ！？ざるも木から落ちる！？

はんじえ じぐちえ

特別展「なぜなぜ？ことばあそび!!-江戸の判じ絵と練馬の地口絵-」を開催

と き	1月30日(土)～3月21日(月・振休) 午前9時～午後6時 月曜休館(3月21日は開館)		
と ころ	練馬区立石神井公園ふるさと文化館 (石神井町 5-12-16)	交通案内	西武池袋線石神井公園駅下車 徒歩 15分

30日から、石神井公園ふるさと文化館(石神井町5丁目)で、特別展「なぜなぜ？ことばあそび!!-江戸の判じ絵と練馬の地口絵-」を開催します。

本展では、区内で活躍する地口絵師・平田郡司氏の書き下ろしの地口絵約100点(半期で展示替)、判じ絵約100点を展示します。

また、ギャラリーでは、松本零士氏や石川サブロウ氏など区内外で活躍する20人の漫画家にご協力いただき、練馬に関わる題材で描いた「現代版判じ絵」を紹介します。

特別展にあわせて、浅草雑芸団による大道芸の公演や、判じ絵を使ったワークショップ、研究者による講演会などを同時開催します。

観覧料 一般300円、高校・大学生200円、65～74歳の方150円、中学生以下と75歳以上の方無料(その他、割引制度あり)。(ギャラリー展示は入場無料。)

【判じ絵・地口絵について】

「判じ絵」とは、描かれた図柄の組み合わせから答えを導き出す「目で見るとなぜ」。 「地口絵」とは、誰もが知っている成句や慣用句などの一部を読みかえて、その状況を絵で表現する「ことばあそび」です。地口絵は、行灯の絵柄として、区内の稲荷神社の初午行事でも使用されています。



判じ絵(お茶をたてるガマガエルで「茶釜」)



判じ絵(台の上に乗ったきつね(コン)で「大根」)



判じ絵(ゾウと金太郎の上半身で「雑巾」)



地口絵「ざるも木から落ちる」
元句(猿も木から落ちる)



地口絵「うすから出たまぐろ」
元句(嘘から出た誠)

【主な展示物】

企画展示室（有料）：判じ絵約 100 点、地口絵約 100 点（半期で展示替）を展示

ギャラリー（無料）：区内外で活躍する 20 人の漫画家の方々が描いた練馬区にちなんだ判じ絵を展示

【会期中のイベント】

講演会「江戸の残照-地口行灯絵を読み解く楽しさ-」

日時：3月6日（日）午後2時～3時30分

講師：岡村 昌夫（日本人形玩具学会運営委員）

定員：100人（往復はがきまたはメールによる事前申込、抽選）

「展示解説」

とき：2月10日（水）・21日（日）・3月19日（土）午後2時～2時45分

解説者：当館学芸員 申込：当日会場受付（当日の観覧券が必要です）

浅草雑芸団による公演

日時：2月6日（土）・7日（日）午後2時（30分程度）

定員：100人（無料） 申込不要（直接ご来場ください）



浅草雑芸団が「ことばあそび」による話芸を披露します

【問い合わせ】石神井公園ふるさと文化館 電話03 - 3996 - 4060